

令和5年度 子育て講座 赤ちゃんふれあい（いのちを育む）事業

目的	家庭教育の大切さを共に学び合う
日時 場所 協力校	令和5年6月20日（火） 9：45～10：30 幼児教育センター（白南風小学校5年1組） 令和5年6月22日（木） 9：45～10：30 幼児教育センター（潮見小学校6年生） 令和5年6月26日（月） 9：45～10：30 幼児教育センター（白南風小学校5年2組） 令和5年6月27日（火） 10：35～11：20 木風小学校（木風小学校6年生）
対象	3か月～1歳までの赤ちゃんとその保護者、小学5～6年生
内容	1. 挨拶 2. 交流しよう（自己紹介、遊びの様子を見る、いっしょに遊ぶ、質問など） 3. 感想を話そう（振り返り） 4. また会おうね（お礼の言葉）
ファシリテーター	地域ボランティア、幼児教育センター職員

【保護者の感想】

- ・小学生との交流は初めてだったので、とてもいい経験になりました。兄弟ができればこんな感じなのかなと思いました。みんな元気で優しく、赤ちゃんとふれ合っており、すごくほほえましかったです。
- ・子どもが6年生になったら、こんな風になるかな？と成長が楽しみになりました。
- ・名前の由来や産まれた時の様子を話しましたが、小学生の子達も同じように大事に育てられてきたことを感じる機会になったらいいなと思いました。
- ・小学生はまだまだ子供なのかなと思っていましたが、とてもしっかりしていて将来が少し安心になりました。こういう授業を通して命の大切さや、人を思いやる気持ちが育ち、素敵な大人になってほしいと思いました。
- ・自身の赤ちゃんが、地域交流での一つの役割を持っているのではないかと感じました。

【小学生の感想】

- ・わたしは妹も弟もいなくて赤ちゃんにふれたり、あそんだり保護者の方にいろんなことを聞くきかいがなかったので、すごくうれしかったです。
- ・赤ちゃんが生まれて大変なこともあるけれど赤ちゃんと一緒にいることはとても幸せそうだった。自分の親も大変だったことを知り、感謝をし、1日1日を大切にしたいと思った。
- ・赤ちゃんをだっこしてみたり、手をにぎったりしてみて、しっかりとした命を感じた。
- ・前までは、赤ちゃんとふれあうのが苦手だったけど、「赤ちゃんふれあい事業」をして、赤ちゃんが、かわいいと感じ、次のふれあいが楽しみです。

